

～ しあわせを実感できるまちへ ～

平成21年5月のさいたま市長選挙において、市政運営の基本的な考え方を、
「マニフェストー「さいたま市民 しあわせ倍増計画」として市民に示しました。

市民との約束であるマニフェストを、絵に描いた餅にしないよう、市の計画として位置付け、着実に実現していくため、「さいたま市民 しあわせ倍増計画」をベースに、平成21年度から平成24年度までに、さいたま市が重点的に取り組むべき施策を盛り込んだ「しあわせ倍増プラン2009」を策定いたしました。

今後は、この「しあわせ倍増プラン2009」の実現を、市政運営の最優先事項として位置付け、最少の経費で最大の効果を上げることを基本とし、その達成に向けて全庁を挙げて取り組んでまいります。

また、取組に当たっては、市民、事業者、行政の三者が自らの責任を果たし、地域、市の課題をともに考え、ともに行動する「責任と共感・共汗」、市民の声、現場の声を大切にする「徹底した現場主義」、地域に偏らない、しがらみのない「公平・公正・開かれた市政」の3つを基本姿勢として大切にまいります。

そして、1円も無駄にしない徹底した行財政改革、徹底した情報公開を進め、生産性の高い都市経営を行い、さいたま市を「日本一ひらかれたまち、日本一身近ではやい行政、日本一しあわせを実感できるまち」に変えていきます。

この「しあわせ倍増プラン2009」の実現により、子どもが輝く“絆”で結ばれたまち、更なるしあわせを実感できるまちにすることを約束します。

平成21年（2009年）11月

さいたま市長 清水 勇人